

特集 女性と平和構築



紛争下および紛争後に、女性の役割は大きく変化します。

戦死した夫や父親に代わって家族を経済的に支えたり、
部族抗争の再燃に対しては和平を呼びかけたりします。

女性は「被害者」から「平和構築の担い手」に、めざましい成長を遂げるのです。

ボサソ（ソマリア）の市場で働く女性

SOMALIA

ソマリアでは 20 年に及ぶ内戦で多くの男性が亡くなり、女性は家庭の主要な稼ぎ手とならざるを得ませんでした。例えば、ソマリア北部の港町ボサソの中央市場では、商売人の 70% が女性です。伝統的な男女の役割が変化し、女性が社会で責任ある立場を任されるようになると、女性達は部族（クラン）の指導者に抗争をやめるよう要求したり、平和集会を開催したりし始めました。

最新の動向を分析するため、ソマリア女性研究センター（SWSC）のシュクリア・ディニ博士は、JCCP と国際平和支援研修センター（IPSTC）と共に「ソマリアの平和構築における女性の役割」について現地調査を行いました。ディニ博士は 9 月に再来日しました。

第 39 回理事会・第 26 回総会

2014 年 6 月 3 日に第 39 回 理 事 会、
2014 年 6 月 27 日に第 26 回通常総会
が開催されました。

総会では「平成 25 年度事業報告書」、「平
成 25 年度活動計算書」、「平成 27 年度
事業計画案」、「平成 27 年度活動予算案」
と定款の変更案が承認されました。

書き損じハガキ ご報告

【2013 年度書き損じハガキ回収結果】

枚数： 12,689 枚

金額： 629,974 円

皆様からの温かいご支援に、JCCP 一同、
心より感謝申し上げます。いただいたご支
援は JCCP の活動を通して現地の人々にお
届けいたします。

※書き損じハガキの募集は年間を通して行っ
ております。詳しくは HP を御覧ください。

「JCCP 活動紹介ムービー ～ケニア心のケア編～」が完成しました。

2007 年の大統領選挙後、ケニアで起こった暴動を経験したある男性。

彼は紛争で受けた苦痛から、アルコールや麻薬・妻への暴力と、すさんだ生活を送って
いましたが、JCCP とのかかわりの中で自分を取り戻していきます。

制作にあたって支援者・ボランティアの方々に
多大なご協力をいただきました。この場をお借
りして御礼申し上げます。

YouTube の JCCP チャンネルはこちら▼

<http://www.youtube.com/user/JCCPchannel>



支援者の声

このコーナーでは、日々 JCCP の活動を支えてくださっている支援者の方々の声をお届けします。

記念すべき第 1 回目は、2009 年から会員で、心理カウンセラーの桑原邦嘉さんです。



Q. JCCP を長く支援している理由は？

思いがあって、専門的なスキルを身につけていて、確実
にその成果を出してきているから。

Q. JCCP の活動で面白いと思うところは？

現地の人々が自らの力で人生を歩めるようになることを
目指しているところ。人々の未来を考えサポートをする、
これこそが本当の意味での支援だと思う。僕もカウンセ
ラーとして大事にしていることなので JCCP の活動には
非常に共感を持っています。

桑原さん、ご協力ありがとうございました！